

Q

夏休み期間中の学童保育室における昼食提供の状況は



ひろし さかもと 坂本



映像はこちらから

A 希望者に提供している学童保育室もある

Q 過去3年度の小学校在校生数に
対して、学童保育利用者数の割合
は。

A 令和3年度は34・3%。令和4
年度は36・2%。令和5年度は38・
2%。利用割合は、増加傾向にあ
る。

Q 夏休み期間中の昼食の提供は。

A 学童保育室は、公立私立合計
で、32室ある。そのうち、22室が希
望者にお弁当等の提供を行っている。
る。

Q 今後、未実施学童保育室で、お
弁当等を提供する考えはあるか。

A 市が主体となり一律に提供する
ことは運営上難しいが、児童が安
全・安心に過ごせる生活環境を確保
するための人員配置を優先しつつ、
新たに昼食を提供できる職員体制や
環境整備ができるのか、先進地を参
考に、調査研究していく。

Q

防災力向上のための、防災士の活躍の場について



ゆか つかぎ 繫



映像はこちらから

A 自治会等での活動や、防災イベントで活躍されている

Q 防災士資格取得補助制度を活用
して、これまで何名が防災士認定を
されたか。

A 平成30年度から補助金交付制度
を設けており、令和5年3月31日
時点で9名が制度を利用し、防災士と
して認定された。

Q 今後の防災士の活躍の場をどの
様に考えているか。

A 現在は、埼玉県の防災インス
トラクターとしても活躍いただいでい
る。今後は、市の総合防災訓練や防
災講演会等に、ご協力いただくな
ど、地域防災力向上の取組の中で防
災士の皆様との連携強化に努める。

Q 防災士を対象とした講習会は考
えているか。

A 防災士の皆様はもとより、市内
自主防災組織などを対象とした地域
の防災リーダーの育成など、効果的
な研修会等を研究していく。



深谷市総合防災訓練の様子

●防災対策について

Q 「緊急防災・減災事業債」を今
までの様な事業に使ってきたか。

A 防災基盤の整備のため、防災倉
庫の新設工事、指定避難所における
避難者の生活環境の改善のため、岡
部公民館及び花園公民館体育室の空
調整備工事など、様々な事業の財源
として活用してきた。また、本年度
予算では、大規模災害時において、
住民の安全に直結する消防団の機能
強化を図るため、消防団車両の購入
費等に活用する。

Q

本市の指定難病患者（医療受給者証所持者）は何名か



ひでお しま 田島 秀



映像はこちらから

A 医療受給者証の所持者数は915名である

Q 障害福祉サービス利用者数は何
名程度か。

A 令和5年9月現在28名である。

Q 指定難病患者のうち就業者は何
名程度か。また、所得階層区分はい
かがか。

A 指定難病患者の医療費助成制度
の実施主体が県であり、本市では指
定難病患者の情報を把握していない
ため、就業者の数や所得階層区分に
ついて把握していない。

Q 指定難病患者に対する本市の障
害福祉サービスには、どのようなも
のがあるか。

A 指定難病患者が利用できるサー
ビスには、障害者総合支援法による
障害福祉サービスのほか、生活サ
ポート事業、居宅改善整備事業など
がある。

Q 本市は指定難病患者への助成に
ついて検討したことはあるか。



A 本市では過去に、県の医療費助
成制度の対象者に対し、自己負担金
を助成する難病患者支援事業を実施
していたが、法に基づく医療費助成
制度における他の障害との公平性を
鑑み、平成26年度末に事業を廃止し
た経緯がある。

Q 難病など内部障害への理解促進
について教育や広報を通じて普及啓
発はできないか。

A 市ホームページに障害者のシン
ボルマークやヘルプマークの紹介、
また、厚生労働省のリンクを貼り、
周知を図っている。引き続き普及啓
発を図っていく。

Q

シニアパスポートを導入できないか



あき やま 出 秀



映像はこちらから

A 近隣の動向を注視してまいりたい

Q 高齢者対象のシニアパスポート
を導入できないか。

A シニアパスポートについては、
現在、群馬県においては65歳以上の
希望する方に配布し、協賛店におい
て割引などが受けられるものであ
る。埼玉県では、プラチナ・サポー
ト・シヨップ事業として、高齢者の
暮らしを支える様々なサービス事業
者の登録制度を実施しており、深谷
市においても、地域の支え合い活動
などを集約した「ふかまるマップ」
を市のホームページに掲載してい
る。シニアパスポートについては、

現在のところ導入を予定していない
が、近隣の動向を注視していき
たい。

●ネギーチャレンジ第1弾について

Q 投票率アップにどの程度、効果
があったか。

